

平成 28 年 11 月 1 日

幼児教育研究センター発足記念 平成28年度教育研究公開シンポジウム 「幼児教育の質の向上を支える研究と研修の在り方を考える ～幼児教育 140 年の歴史から未来を考える～」について

国立教育政策研究所では、このたび、幼児教育の研究や研修の在り方について考えるシンポジウムを開催することとなりましたので、お知らせします。

1. 趣旨

近年、国内外において、幼児教育への関心が高まっており、より効果的な研究活動を遂行するため、本年 4 月に国立教育政策研究所内に幼児教育研究センターを設置しました。

同センターの発足を記念し、幼児教育の質を高め幼児教育政策に資する研究の在り方や、保育者の資質向上を支える研修の在り方、同センターと他機関との協働等について、幼児教育に関わる研究者や政策担当者、幼児教育の実践者など幅広い関係者にお集まりいただいて議論を深め、今後の幼児教育研究の在り方に示唆をいただきたく、シンポジウムを開催いたします。

2. 日時 平成 29 年 1 月 16 日（月）13：00～17：00（受付開始 12：30）

3. 会場 文部科学省 講堂
（東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第 7 号館 3 階）

4. プログラム

「所長挨拶」

杉野 剛（国立教育政策研究所長）

「これまでの幼児教育と今後の展望」

伊藤 学司（文部科学省初等中等教育局幼児教育課長）

「幼児教育 140 年の歩み」

室伏 きみ子（お茶の水女子大学長，国立教育政策研究所評議員）

「幼児教育研究センター紹介」

渡邊 恵子（国立教育政策研究所幼児教育研究センター長）

講演「質の向上を支える研修と研究」

秋田 喜代美（東京大学大学院教育学研究科教授，
国立教育政策研究所評議員・上席フェロー）

パネルディスカッション

「今後の幼児教育の目指すもの：これまでの歩みとこれからの在り方」

◆司会

掘越 紀香（国立教育政策研究所総括研究官）

◆パネリスト

秋田 喜代美（東京大学大学院教授，国立教育政策研究所評議員・上席フェロー）

無藤 隆（白梅学園大学教授，国立教育政策研究所評議員・上席フェロー）

砂上 史子（千葉大学准教授）

中山 昌樹（認定こども園あかみ幼稚園園長）

小松 親次郎（文部科学省文部科学審議官）

5. 参加申込（一般）

◆インターネット申込

https://www.ifys.jp/nier_symposium2016/entry

本研究所 HP（<http://www.nier.go.jp>）→「報道・イベント」→「イベント情報」
→平成 28 年度教育研究公開シンポジウム「幼児教育の質の向上を支える研究と
研修の在り方を考える」

◆FAX 申込：チラシ裏面の「参加申込用紙」により 03-5395-1206 へ送信

6. 取材申込

当日取材を御希望の際は、氏名・所属・連絡先・撮影方法（録画又は写真）等を平成 29 年 1 月 6 日（金）18 時まで youji@nier.go.jp へ御連絡くださるようお願いいたします。

（お問合せ先）

国立教育政策研究所 幼児教育研究センター

電話：03-6733-6752（直通）

E-mail：youji@nier.go.jp